

指定管理候補選考委員会における意見

施設名	福智山ろく花公園		
指定期間	令和4年4月1日～令和6年3月31日		
担当課	商工観光課	評価対象事業年度	令和4年度
適切な管理運営がなされ、基本的な市民サービスを満たしていると判断できる。 指定管理者は、造園の専門的知見を活かした植栽の管理を行うことで、従来から来園していただいている年齢層の満足度向上に資する施設運営を行っている。 また、『乳幼児や未就園児を持つファミリー層』をターゲットとし、これらの層の来園が見込めるイベントの実施や、SNS等を活用した積極的な情報発信が功を奏し、コロナ禍前の水準以上に来園者数が増加していることは、直方市の観光基本計画の方向性とも一致しており、高く評価が出来る。 来園者を対象としたアンケート調査でも満足度は高く、施設の設置目的の一つである「市民福祉の向上」に大きく寄与する施設運営がなされていると判断できる。 令和4年度の収支が赤字となっている点は運営の持続性という視点からすると懸念材料ではある。ただし、これは指定管理1年目で、新たな取り組みのための初期投資を積極的に行った結果である。次年度以降、その投資が成果に結びつくことを期待したい。 また、施設内の設備老朽化対策や、園内の植物名掲示の充実を求める要望・意見もあることから、限られた予算内ですべての課題に対する改善策の実施は困難と思料されるものの、施設所管課と協議の上、優先順位を付したうえで対応されることを期待したい。 新たなターゲットの確保に成功した取り組みは継続するとともに、園内資源（植物や昆虫等）を活用した生涯学習の実施等、新たなターゲットの確保に資する取り組みについても積極的に検討していただきたい。 【参考】平成29年度～令和4年度の来園者数 平成29年度：46,005人、平成30年度：51,169人、令和元年度：52,921人 令和2年度：38,430人、令和3年度：44,222人、令和4年度：53,085人			